

数学 文系(A方式)

(問題)

2013年度

〈2013 H25071119〉

注意事項

- この試験では、この問題冊子のほかに、マーク解答用紙を配布する。問題冊子は、試験開始の指示があるまで開かないこと。
- 問題は4~8ページに記載されている。試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁および解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督員に知らせること。
- 解答はすべて解答用紙の所定欄にH Bの黒鉛筆またはH Bのシャープペンシルで記入すること。
- マーク解答用紙については、受験番号を確認したうえ所定欄に氏名のみ記入すること。
- 問1から問5までの [ア] , [イ] , [ウ] , …にはそれぞれ, -49, -48, …, -2, -1, 0, 1, 2, …, 48, 49のいずれかが当たる。次の例にならって、マーク解答用紙のア, イ, ウ, …で示された欄にマークして答えること。

例. アに3, イに-5, ウに30, エに-24, オに0と答えたいとき。

—	十の位				一の位									
	1	2	3	4	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ア	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○
イ	●	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○
ウ	○	○	○	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○
エ	●	○	●	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○
オ	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○

- 分数形で解答する場合の分母、および根号の中の数値はできるだけ小さな自然数で答えること。
- マークははっきり記入すること。また、訂正する場合は、消しゴムでていねいに、消し残しがないようよく消すこと（砂消しゴムは使用しないこと）。

マークする時	● 良い	○ 悪い	○ 悪い
マークを消す時	○ 良い	● 悪い	○ 悪い

- いかなる場合でも、解答用紙は必ず提出すること。
- 試験終了後、問題冊子は持ち帰ること。

【問 1】

次の間に答えよ。

- (1) 13^{13} を 144 で割ったときの余りは ア である。
- (2) 空間内に 3 点 A(1, 2, 3), B(3, 5, 2), C(1, 2, 1) がある。点 A, B を通る直線を l としたとき、点 C との距離が最小となる l 上の点の座標は

$$\left(\frac{\text{ウ}}{\text{イ}}, \frac{\text{エ}}{\text{イ}}, \frac{\text{オ}}{\text{イ}} \right)$$

である。

【問 2】

次のような群にわかれた数列がある。

$$(1), (2, 4), (5, 7, 9), (10, 12, 14, 16), \dots$$

(第 2 群の初項は第 1 群の末項に 1 を加えたものとし、第 3 群の初項は第 2 群の末項に 1 を加えたものとする。以下同様に第 n 群の初項は第 $n-1$ 群の末項に 1 を加えたものとする。第 n 群は公差 2、項数 n の等差数列である。)

このとき次の間に答えよ。

(1) 第 n 群に含まれる項の総和は $\boxed{コ} n^3 + \boxed{キ} n^2 + \boxed{ク} n$ である。

(2) 第 1 群から第 n 群に含まれるすべての項の総和は

$$\frac{1}{\boxed{ケ}} (\boxed{コ} n^4 + \boxed{サ} n^3 + \boxed{シ} n^2 + \boxed{ス} n)$$

である。

【問 3】

1辺の長さが1の正方形ABCDにおいて、図のように $AW = BX = CY = DZ$ となる点W, X, Y, Zをとる。四角形WXYZに内接する円を C_0 とし、 $\triangle AWZ$, $\triangle BXW$, $\triangle CYX$, $\triangle DZY$ に内接する円をそれぞれ C_1 , C_2 , C_3 , C_4 とする。

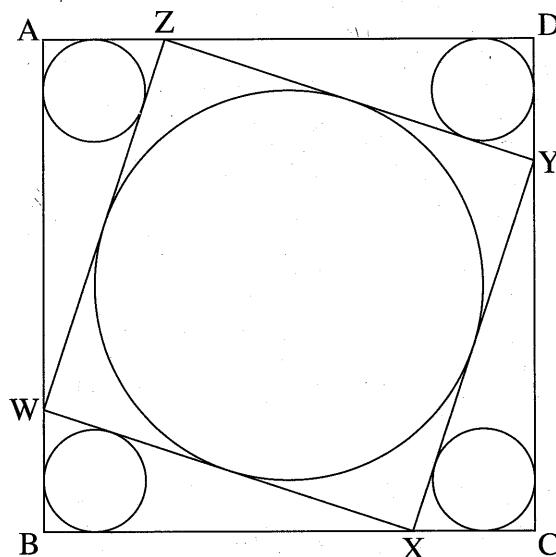
$AW = x$, $ZW = a$ とおくとき

$$a^2 = \boxed{\text{セ}} x^2 + \boxed{\text{ソ}} x + 1 \quad (0 < x < 1)$$

となる。円 C_0 , C_1 , C_2 , C_3 , C_4 の面積の総和を S とすると

$$S = \frac{\pi}{4} (\boxed{\text{タ}} a^2 + \boxed{\text{チ}} a + \boxed{\text{ツ}})$$

となり、 $a = \frac{\boxed{\text{ト}}}{\boxed{\text{テ}}}$ のとき、 S は最小値 $\frac{\pi}{\boxed{\text{ナ}}}$ をとる。



【問 4】

三角形 OAB において $OA = 5$, $OB = 6$, $AB = 7$ であり, 点 P は

$$3 \overrightarrow{OA} - 15 \overrightarrow{OB} + 4 \overrightarrow{OP} = \vec{0}$$

を満たす点とする. 直線 AB と直線 OP の交点を Q とすると

$$\overrightarrow{OP} = \boxed{\equiv} \overrightarrow{OQ}, \quad \overrightarrow{AQ} = \frac{\boxed{\text{ネ}}}{\boxed{\text{ヌ}}} \overrightarrow{AB}$$

である. このとき三角形 OAP の面積は $\frac{\boxed{\text{ノ}} \sqrt{\boxed{\text{ハ}}}}{2}$ である.

【問 5】

関数 $f(x) = \left(27^x + \frac{1}{27^x}\right) - 5\left(9^x + \frac{1}{9^x}\right) - 5\left(3^x + \frac{1}{3^x}\right) + 1$ について次の間に
答えよ。

(1) $t = 3^x + \frac{1}{3^x}$ とおくとき, t の最小値は ヒである。

(2) 関数 $f(x)$ は $x = \log_3 \left(\boxed{\text{フ}} \pm \sqrt{\boxed{\text{ヘ}}} \right)$ のとき, 最小値 ホをとる。

[以 下 余 白]

